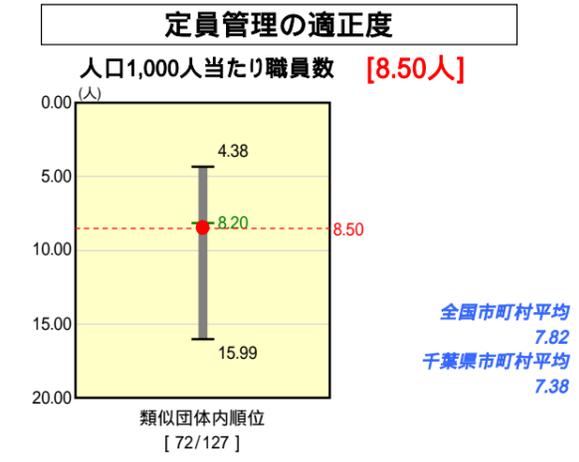
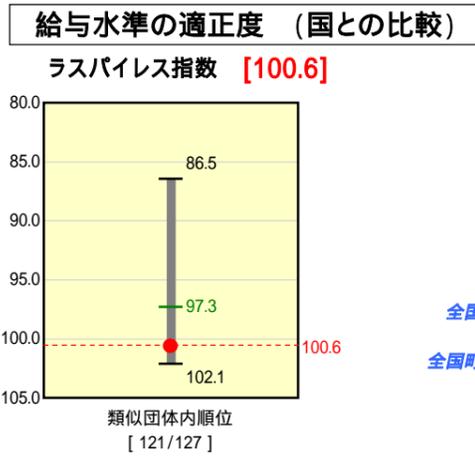
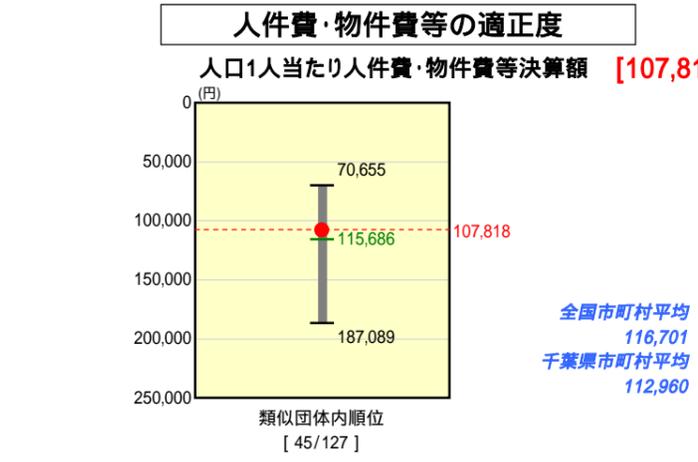
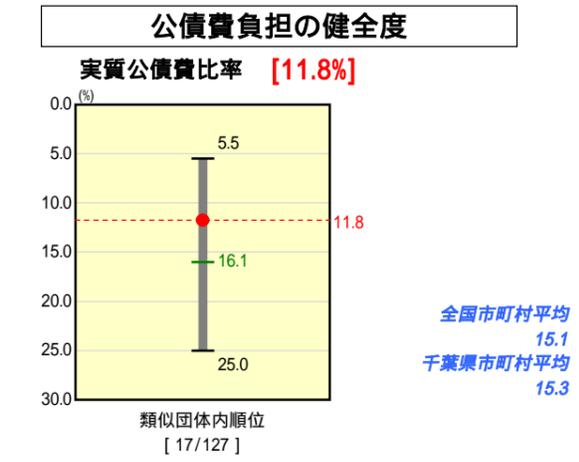
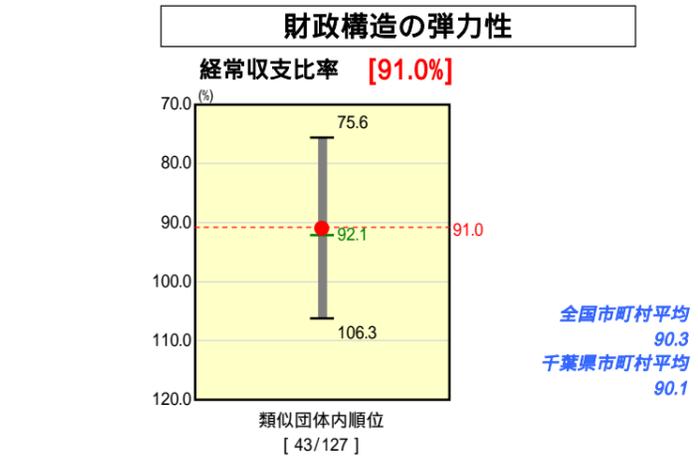
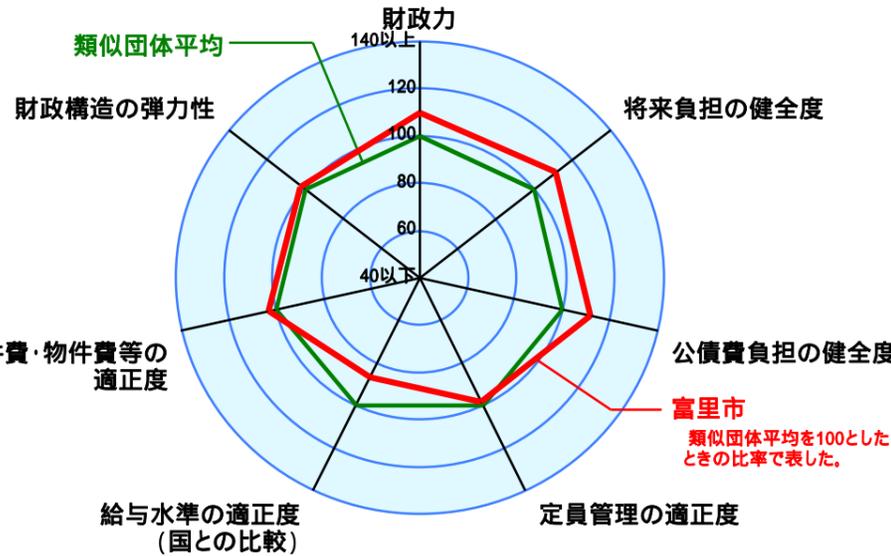
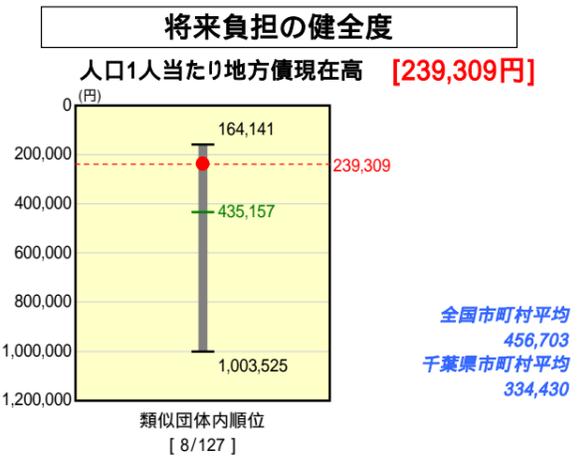
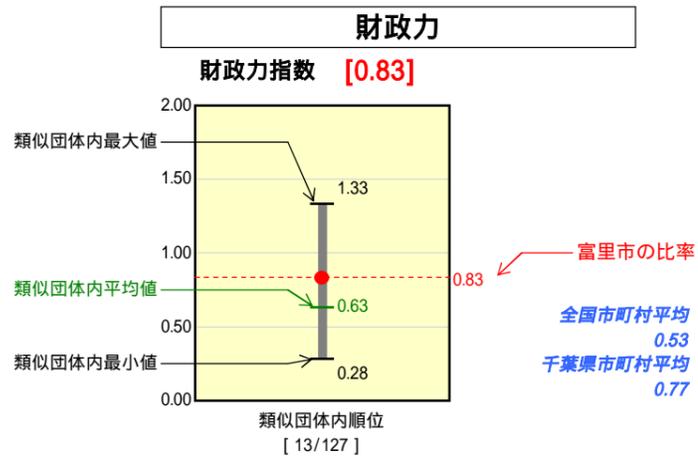


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 千葉県 富里市

人口	49,876 人	(H19.3.31現在)
面積	53.91 km <sup>2</sup>	
歳入総額	12,939,355 千円	
歳出総額	12,277,258 千円	
実質収支	662,097 千円	



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**：ここ5年間で連続した伸びを見せており、類似団体平均をかなり上回っている。行財政改革による市税等の徴収率向上対策の成果、歳出においては高齢者福祉費や社会福祉費等の扶助費の増加はあるものの、定員適正化計画による人件費、投資的経費の抑制に伴う公債費等の削減に努めていることが要因として挙げられる。今後も国庫補助負担金改革や地方交付税関連収入の削減による影響等が懸念されることから、引き続き行財政改革等を推進し、さらなる歳入の確保及び歳出の削減に努める。

**経常収支比率**：行財政改革等の取組による歳出削減及び歳入確保に努めていることから、平成17年度から改善しており、類似団体平均値も下回っている。しかしながら、千葉県及び全国平均は上回っており依然として高い水準にあるため、また、今後も社会保障関係経費の増加が見込まれることから、現在取り組んでいる事務事業の見直しを更に進めるとともに、「集中改革プラン」に基づく経常経費の削減と一層の歳入の確保に努める。

**ラスパイレス指数**：類似団体とは、職員の経験年数階層が異なることから平均を上回っている。数値は横ばいのため、より一層の給与の適正化に努める。

**実質公債費比率**：行財政改革等の取組による地方債発行額の抑制や元利償還金の減少等により類似団体平均値を下回っている。今後、新清掃工場建設事業など大規模事業が控えていることから、地方債の発行については、行政効果・緊急性を基本に、世代間の負担の公平化と中長期的な公債費負担等を視野に入れながら、適正な範囲内での発行に努める。

**人口一人あたり地方債現在高**：近年の新規地方債の発行の抑制により残高は徐々に減少しており、類似団体平均値を大きく下回っている。今後、新清掃工場建設事業など大規模事業が控えていることから、元利償還金と地方債発行額のバランスに配慮しつつ、財政の健全化に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**：行財政改革等の取組により類似団体平均値を下回っている。今後も集中改革プランに基づき、さらなる経費の節減及び定員適正化計画に基づく人件費の削減を図る。

**定員管理の適正度**：類似団体平均を上回っている。職員の削減が行政サービスの低下につながらないよう、行政水準の向上を図り、OA化、民間委託、臨時職員の活用等により組織の整備を進めていく。また、定年退職者不補充、その他の職員の採用については必要最低限とし、定員の適正化をさらに推進していく。